

平成30年度の重点課題

- 男子  
「長座体前屈」において、昨年度に比べ、県平均値かつ全国平均値より低い学年が5つ該当している。
- 女子  
「ボール投げ」において、6学年中4学年が県平均値かつ全国平均値を下回った。
- 共通  
「50m走」において、すべての学年で県平均値かつ全国平均値を下回った。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「南小サーキット」を授業の冒頭で行うことを引き続き徹底する。サーキットトレーニング全種目で最高レベルをクリアした児童に賞状を渡すとともに、学校掲示板で伝えることにより意欲向上を図り、運動の日常化を目指した。
- 学年ごとに重点強化種目を設定し、その種目の能力向上につなげるため、易しい運動を体育科授業や家庭学習において取組んだ。また、その成果を評価するために重点強化種目の再測定を2学期末に行い、その後の指導につなげた。
- 体育版「あゆみ」を活用して、児童自身に課題や目標をたてさせるとことにより、体力への関心や体力向上へ意欲を高めるとともに、保護者への発信・啓発の手立てとした。

令和元年度新体力テストの結果（県平均値（平成30年度）・全国平均値（平成29年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.95	12.26	23.70	26.91	13.22	11.30	114.56	8.59	29.85	第1学年	9.27	10.35	25.94	25.65	12.49	11.95	102.78	5.08	27.98
第2学年	10.84	13.42	28.73	29.95	24.33	11.34	119.14	11.14	35.39	第2学年	10.05	14.56	32.39	29.25	23.25	11.28	112.53	7.98	37.86
第3学年	12.90	17.35	28.80	36.16	40.57	10.23	138.39	17.29	44.98	第3学年	12.32	15.90	28.92	34.92	36.02	10.57	136.52	9.58	45.70
第4学年	14.93	21.16	33.82	40.31	51.45	9.89	146.07	18.29	51.36	第4学年	13.28	20.61	35.28	36.64	40.07	10.29	135.53	10.09	50.39
第5学年	16.86	25.55	34.62	48.46	61.98	8.92	158.69	24.43	60.68	第5学年	16.17	22.93	36.07	42.46	50.23	9.40	144.25	12.95	58.24
第6学年	20.36	24.11	37.00	48.25	61.31	9.02	164.22	29.67	62.03	第6学年	18.98	22.44	39.13	45.36	45.72	9.37	155.67	15.56	62.25

県平均値かつ全国平均値未満

令和元年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（平成30年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.95	12.26	23.70	26.91	13.22	11.30	114.56	8.59	29.85	第1学年	9.27	10.35	25.94	25.65	12.49	11.95	102.78	5.08	27.98
第2学年	10.84	13.42	28.73	29.95	24.33	11.34	119.14	11.14	35.39	第2学年	10.05	14.56	32.39	29.25	23.25	11.28	112.53	7.98	37.86
第3学年	12.90	17.35	28.80	36.16	40.57	10.23	138.39	17.29	44.98	第3学年	12.32	15.90	28.92	34.92	36.02	10.57	136.52	9.58	45.70
第4学年	14.93	21.16	33.82	40.31	51.45	9.89	146.07	18.29	51.36	第4学年	13.28	20.61	35.28	36.64	40.07	10.29	135.53	10.09	50.39
第5学年	16.86	25.55	34.62	48.46	61.98	8.92	158.69	24.43	60.68	第5学年	16.17	22.93	36.07	42.46	50.23	9.40	144.25	12.95	58.24
第6学年	20.36	24.11	37.00	48.25	61.31	9.02	164.22	29.67	62.03	第6学年	18.98	22.44	39.13	45.36	45.72	9.37	155.67	15.56	62.25

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 男子  
「50m走」において、6学年中4学年が県平均値かつ全国平均値を下回っている。
- 女子  
「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、6学年中5学年が県平均値かつ全国平均値を下回っている。
- 共通  
外遊びをする児童が少ない。また、外遊びをする児童とそうでない児童が固定化している。  
総合評価のD及びEの率が21.3%である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 学年ごとに重点強化種目を設定し、その能力向上につなげるため、易しい運動を体育科授業や家庭学習において取り組む。その成果を評価するために、重点強化種目の再測定を行い、その後の指導につなげる。  
「50m走」「立ち幅跳び」→ 体育科授業の準備運動において、けんけん鬼ごっこやスキップ鬼ごっこ、スタンドの昇り降り運動を取り入れる。また、立ち幅跳びチャレンジタイムをつくり、何でも記録に挑戦することができる場を設定する。  
「ボール投げ」→ 各クラスに配布するボールの数を増やし、休憩時間にボールに触れる機会を増やす。また、ロケットボールや野球ボール、ラグビーボールなど球以外のものを投げる場を設ける。
- 体力向上に向けて、体育科授業の改善、休憩時間の活用について教職員研修を行い、それぞれ1つずつ取組を実施する。
- 体育版「あゆみ」を活用して、児童自身に課題や目標を立てさせることにより、体力への関心や体力向上への意欲を高めるとともに、保護者への発信・啓発の手立てとする。

令和2度の目標値

- 新体力テストの総合評価のA及びBの率を45%以上、D及びEの率を15%以下にする。（(A-B-E)率30%以上）(今年度26.7%)
- 県平均値かつ全国平均値を上回る種目を96種目中、60種目以上(男子…35種目、女子25種目)にする。(今年度:男子…32種目、女子…19種目、計…51種目)